

館報

Nov. 2004

No. 55

The Yokohama National University Library Bulletin

目次

開架図書室からの連想（山下 正毅）	1
リニューアル後の1年を振り返って（岡部 美紀）	3
平成16年度新規購入雑誌・購入中止雑誌一覧	5
図書館に関する会議・主要日誌・職員の動向	7
図書館からのお知らせ	8

開架図書室からの連想

山下 正毅

学生時代、講義のない時間帯や、講義が早く終わって、その日はもう何もないというときは、よく図書館へ行った。もっとも頻繁に訪れたのは開架図書室だった。気ままにあちこち思いつくまま目に付くままにさまざまな分野の本を手にとって眺め、かつ読むことができたからである。

経済学部学生であったけれども、専門分野の本は古いものや洋書等のすぐには買えないものをときどき借り出して読んでみるくらいで、開架図書室では美術書等の専門外の本を見ることが多かった。スキラというスイスの出版社の画集のことは、高校時代から聞いていた。実物には大学の開架図書室で初めてお目にかかった。色々な判型のものが出されていたのだと思うが、揃えられていたのはA5変形判というか正方形に近い比較的小型のものだった。しかし図は精密で美麗、重要な作品は部分図を多く入れて、マチエールや色彩のニュアンスが分かるよう配慮されていた。インクや紙も発色効果を考えて選ばれているようだった。さすが精密工業の発達した国だけのことはある、印刷技術もすばらしい、と思ったことであつた。本文はフランス語だろうと思っていたが、有り難いことに英語であつた。今でも覚束ないけれども、その頃の私のフランス語は習い始めて間がなく、お話にならないレベルにあり、これで何か本が読めるという状態ではなかったのである。



ところで大学1年時のフランス語の授業は、初めての半年で文法をやった。並行してフランス語の読本の授業があつた。まだ文法をabcからやっている最中に、いきなり読本である。こちらも興味半分で受講した。テキストはアラン＝フルニエの『モーヌの大將 (Le grand Meaulnes)』（岩波文庫では原題どおり『グラン・モーヌ』となっている）だったが、抄録でしかも易しく書き直されているようであつた。学期の最後に先生は言った。「君たちは文法も一通りやり終えたようだし、これからは何でも読めますよ。スタンダール、ジード、サン・テグスは言うまでもないけれど、モンテーニュだって読めないことはないですよ。」モンテーニュはかき昔の人だから（16世紀中・後期）、『随想録』のフ

ランス語は現代とはだいぶ異なる筈で、本当かなと一瞬戸惑った。しかしここまでわれわれを買い被ってもらうと勇気がわき、何でも読んでやろうという気になったものである。ただ、さすがに *Essais* は難物で歯が立たず、今に至るも原文を読んでいないのは、先生のわれわれへの期待（あるいは信頼）に応えていないことになるかなと、若干申し訳ない気持ちである。先生には、ヌーヴォー・ロマンのロブ＝グリエの翻訳があることは、あとで知った。奥さんがフランス人だと言われていて、発音がラジオ、テレビや映画で聞くそれと同じだった。私にとって幸運なフランス語第一歩であったといえよう。

今でも雑談の中で、どうして大学で第二外国語にフランス語を選んだのかという話になることがある。ケネー、ワルラスの名前を知らないわけではなかった。しかしこれらの偉大な経済学者たちの著作をフランス語で読むことはさしあたり頭の中ではなくて、当時山内義雄の訳がよく読まれていたロジェ・マルタン＝デュ＝ガール『チボー家の人々 (*Les Thibault*)』、中学生の頃「糞ころがしのスカラベ」の話を讀んだアンリ・ファール『昆虫記 (*Souvenirs entomologiques*)』、小林秀雄『モーツァルト』に出てくる、ウィゼワとサン＝フォワのモーツァルト評伝、等々あげればきりがなが、いかにも面白そうなフランスの本たちを読みたくてこの言葉を選んだのである。その後、これらの本をペーパーバックではあるが手に入れた。しかしいずれも大冊で、ファールやウィゼワ、サン＝フォワは1冊1,000ページ前後の大型文庫判2巻本である。たっぷり時間が無いと読む気になれない。これらの一部分を10ページほど拡大コピーして読むことはあるが、ふだんの余暇にはたとえば『プチ・ラルース (*Le petit Larousse illustré*)』の任意の項目の拾い読み、『メグレ警視 (*Le commissaire Maigret*)』シリーズのこれまた拾い読み、雑誌・新聞記事の切り抜き帳を1、2ページ目通し、といったようなことでお茶を濁している。

開架図書室の美術書の話は40数年前のことである。その後日本の印刷技術は急速に進歩し、美しい美術書もたくさん出るようになった。印刷は、紙に文字や絵をインクで刷るという伝統的な形をはるかに超えて、電子回路を樹脂にプリントしたり、木材やボードに模様を描いたりというように、様相が一変した。鉛活字による活版印刷の本が殆ど見られなくなったのは淋しいものの、他の分野の技術進歩と相俟って印刷がわれわれの身の回りを豊かに便利にしているのに気づく。たとえば辞書を見てみよう。薄い紙が使われているのに、裏ページの文字や絵が殆ど透けていない。同じ辞書の昔の版よりページ数がずっと多いにもかかわらず厚さは変わらない。『広辞苑』はまだモノクロである

が、辞書のカラー挿絵は当たり前になった。新聞も同様である。カラーなら何でも良いわけではないけれど、毎日どこかのページにカラーの写真や図がある。紙は薄く、軽い。こうしたことはインク、紙、印刷機の改良と進歩なくしてはあり得ないことである。これらの辞書や新聞は、今はコンピュータを使って編集・製作されるので、CD-ROM、インターネット、等の電子的メディアでも同時に提供される。われわれは状況に応じてこれらを使い分けることができる。何と便利なことであろうか。これを経済成長というのであろう。GDPや国民所得は、いろいろな形をとって現れている経済の変動をまとめて示すひとつの指標にすぎない。数字の裏に、さまざまな改良、進歩、多様化がある。

新聞、辞書は伝統的な情報媒体であるが、知識、思想、アイディア、画像、等の情報を収録し、伝達し、加工・整理する手段と方法は、この20年ほどのあいだに著しく多様化し、機能もまた進歩した。この進歩は止まることなく依然進行中である。こうして、日常生活、企業活動、教育、学術研究のあり方を、大きく変貌させつつある。

学術情報を伝達し保存する手段として、書籍（印刷物）のほかに電子的メディアと情報通信網が加わった。図書館は冊子体書籍のほか、CD-ROM、ビデオ、ビデオディスク、音楽CD、等を収集し、ネットワークに接続したパソコンを多数揃えて、利用者の要請に応えなければならなくなっている。しかし同時に、伝統的な情報保蔵・伝達手段である書籍の価値を忘れてはならない。現在でも多くの情報は印刷された形で伝えられているのである。まだ電子化されていない文献資料も多い。何といたっても冊子体書籍は誰でも簡単に利用できる。読み取りのために特別な機器を必要としない。手に取ってページをめくるだけでよいのである。電子的情報通信は、読み取りと伝達のために特別な機器と方法を使用するので、それを利用して不法行為が行われ、犯罪の場ともなる。電子的情報通信手段、たとえばインターネットで提供される情報は、余りに膨大でもあるから、系統的に保存されることがない。一部分が恣意的、偶発的に保存されることはあるものの、多くは消え去っていく。これでよいかどうかはまだ分からない。とにかくわれわれは、あまりにも多い情報の海の中にいるので、情報の価値の順序をつけにくくなっている。情報の選択ということを考えなければならなくなっているが、これにも相当の工夫と努力を必要とする。余りに多くの情報がかえって混迷を深める、ということもあるであろう。

(やました せいき 附属図書館長、国際社会科学研究科/ (兼担) 経営学部 教授)

リニューアル後の1年を振り返って

岡 部 美 紀

はじめに

昨年、図書館はリニューアル・オープンし、それまでとは比べものにならないくらい大きな変化を遂げました。第1は、これまでより広く大きくなったことです。ホール上空が吹き抜けになっているなど、空間全体が広々としているだけでなく、一つ一つのエリアがすべてにゆったりとした設計になっています。第2は、これまでにない新たなサービスが開始されたことです。インターネットが利用できる情報コンセント・無線LANやメディアブース等の設置など、情報社会に対応したものとなっています。第3は、使い勝手が良くなったことです。大学の図書館では初めての試みであるカフェラウンジ、ペットボトルなどの蓋付き飲み物の持ち込みが可能なリフレッシュルームなど、気分転換のためのラウンジでくつろぐことによって、長時間の調査・学習を可能にしました。

以上のように、変貌を遂げた図書館が利用者にとどのように受け止められるか、期待と不安が入り交じる中でスタートしました。

まず、入館者数は、これまでの約1.4倍に増加し、またAV機器の利用も多くあり、リニューアルの成果が出ているようです。つぎに新しい図書館の特色を追いながら更に増えたサービスを紹介していきます。

各部屋・スペースの機能

1. カフェ（1階）

軽飲食をしながら無線LANが利用できます。利用者に人気があるラウンジです。利用者の増加の一因にもなった施設といえます。ところで、このカフェに名前（愛称）をつける公募がありました。最優秀作品の作者は日頃よりこよなく図書館を愛している利用者の方と聞いています。感激。名前は、「図書館カフェ shoca.」になりました。



2. メディアブース・ワーキングスタジオ（1・2・3階）

申し込みによる利用です。各室に備え付けられているPCが利用できるグループ学習室です。個室の収容人数は6名用と20名用の2種類があり、ワーキングスタジオの中には、画像編集ができるメディアラボ室があります。また、複数利用者による映画鑑賞もできます。各個室の利用は高く、特に試験期は連日満室になります。この1年間で利用が驚異的に増えました。（下表参照）

3. メディアホール（1階）

申し込みによる利用です。（用途及び利用可能時間については、図書館のホームページで確認ができます。）貸出物品は、ホール専用スクリーン（造り付け）、音響設備一式、移動式個人机（簡易型）、プロジェクターなどが利用できます。また無線LANが利用できるようになりました。

このホールは、教職員の主催する講演会、研究発表会、報告会などに利用して貰おうとして作られたもので、大きな目玉の一つとなるはずでした。たくさんの催しが開催される事を想定しておりましたが、フタを開けてみると利用頻度が少ないという結果が示されま

		メディアブース・ワーキングスタジオ利用統計（平成16年10月現在）												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
H. 15	件数	67	182	293	573	30	55	220	274	226	295	303	30	2,548(件)
	人数	378	957	1,465	2,644	123	243	991	1,144	1,002	1,186	1,255	172	11,560(人)
H. 16	件数	226	394	735	1,151	98	140	559						
	人数	1,087	1,768	3,000	4,994	597	649	2,381						

メディアブース5室（1階）／ワーキングスタジオ7室（2・3階）

した。また、講演会などの大きな催しは、平日よりも休日に行いたいという希望があることも分かりました。現状の中での問題点を解決しながら、利用しやすくするための施設を目指しつつ、要望の強かった休日利用については、10月よりすべての開館日での利用が可能になりました。

4. 情報ラウンジ（1階）

申し込みによる利用です。（用途及び利用可能時間については、図書館のホームページで確認ができます。）貸出物品は、展示用パネル（脚付き）、展示用机・椅子（組み立て式）、展示用チェーン（壁掛け）などが利用できます。また無線LANが利用できます。

このラウンジは、学生の主催する卒業制作・作品発表会などに利用ができるように作られたスペースです。いままでに卒業制作発表会、マルチメディア文化課程の文化祭、産学連携による研究発表会などに利用されました。メディアホールと同じように10月よりすべての開館日での利用が可能になりました。ところで、卒業制作発表会などの利用時期が重なるため、複数の利用者が同時に使えないという新たな問題が、一方で起き始めています。利用者の希望をくみながら工夫しなければならぬ点だと考えています。

5. PCプラザ（2・3階）

図書館に隣接している総合情報処理センターとリンクしており、インターネットやメールなどが自由にできる場所です。2階に配置されているPCと同じ機能を3階にも増設しました。また授業のある期間の平日（19時から21時の間）は、パソコン教育室C・Dと2階PC

プラザとの間が自由に出入りできます。試験期以外でも利用が多い場所です。

6. リフレッシュルーム（2階）

文字通り、リフレッシュする場所です。2階、3階及び4階のフロアの中で唯一この部屋だけは、ペットボトル飲料（蓋付き飲み物など）が飲めます。新聞を読みながら休憩をしたり、友達との情報を交換したりする場でもあります。

7. その他

3階には、眺めの良いパノラマ閲覧席があり、ここでも持ち込みのPCを利用することができます。このほかにも映画等の視聴覚資料を個人で利用できるブースが設置されているAVエリアや携帯電話を利用できる専用室などがあります。個人用ブースは、話題の映画を購入したこともあり利用の多い日が続きます。このため個人用ブースを増やす必要に迫られてきました。

おわりに

このように、たくさんの機能を備えた新図書館は期待通りの展開を見せつつも、利用マナーを強く要求される施設でもあることがわかりました。大声で騒いだり、指定場所以外で飲食をする行為が目立つようになったり、利用者相互のマナーの向上を願わずにはいられません。図書館職員は様々な事態に適切に対処し、今まで以上に快適な図書館環境を作り上げるためにいっそうの努力が必要であるとの思いを強く持ちました。（おかべ みき 附属図書館情報サービス課資料サービス係長）



平成16年度新規購入雑誌一覧

- | | |
|--|---|
| <p>(国内誌)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 季刊事業再生と債権管理 2 月刊DB マガジン 3 現代ファイナンス 4 国民生活研究 5 産業新潮 6 商店街通信 7 消費者情報 8 生協総合研究所生活協同組合研究 9 賃金と社会保障 10 電気評論 11 登記研究 12 日経バイオビジネス 13 日経ものづくり 14 ネイチャーインタフェイス 15 年金と経済 16 民事訴訟公報 17 ラテンアメリカ時報 18 流通 <p>(外国誌)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Art, das Kunstmagazin 2 Asia-Pacific development journal 3 BKR : Zeitschrift für Bank- und Kapitalmarktrecht 4 Brigitte : das Magazin für Frauen 5 Busrama international 6 China monthly statistics 7 Contemporary Southeast Asia 8 Differential and integral equations : an international journal for theory & applications 9 Entrepreneurship theory and practice : ET&P 10 Entrepreneurship and regional development | <ol style="list-style-type: none"> 11 FASB comprehensive subscription plan 12 Hong Kong monthly digest of statistics 13 Indian journal of international law 14 Indikator ekonomi : monthly statistical bulletin 15 International journal of electronic business 16 International journal of sexuality and gender studies 17 Journal of business venturing 18 Journal of intelligent material systems and structures 19 Journal of investment management : JOIM 20 The Journal of physiology 21 Journal of the European Economic Association 22 Latin American perspectives 23 Law & sexuality : a review of lesbian and gay legal issues 24 Monthly bulletin of statistics 25 Monthly digest of statistics 26 Monthly external trade statistics : Malaysia 27 Monthly statistical bulletin. Malaysia = Siaran perangkaan bulanan. Malaysia 28 Novos estudos CEBRAP 29 Resource : AICPA's accounting and auditing literature 30 Revista brasileira de economia 31 Revista de administração 32 Revista de economia política 33 Strapazin 34 Tribology letters 35 Umwelt Wirtschafts Forum : UWF 36 Verbraucher und Recht 37 Wind & structures 38 Вопросы философии 39 財経 40 中国婦女報 41 複印報刊資料労働経済と労働関係 42 臺灣史研究 |
|--|---|

平成16年度購入中止雑誌一覧

- | | |
|--|--|
| <p>(国内誌)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ET ニュースレター 2 MJ, 無線と実験 3 Yomiuri weekly 4 ウッディ・ライフ 5 海外経済データ 6 海外労働時報 7 科学技術文献速報 エネルギー・原子力工学編 8 科学技術文献速報 化学・化学工業編 外国編 9 科学技術文献速報 化学・化学工業編 国内編 10 科学技術文献速報 管理・システム技術編 11 科学技術文献速報 機械工学編 12 科学技術文献速報 金属工学・鉱山工学・地球科学編 13 科学技術文献速報 電気工学編 14 科学技術文献速報 土木・建築工学編 15 科学技術文献速報 物理・応用物理編 16 科学技術文献速報 ライフサイエンス編 17 学校運営研究 18 ガバナンス 19 切抜き速報科学版 20 ケミカル・エンジニアリング 21 建築設備 22 月刊公民館 23 月刊女性情報 24 月刊店舗 25 原子力EYE 26 公正取引特報のみどころ 27 高齢社会ジャーナル 28 商業界 29 証券アナリストジャーナル 30 ストーンテリア 31 生体医学 32 たのしい授業 33 地学研究 34 日刊工業新聞 縮刷版 35 法律判例文献情報 36 有価証券報告書総覧 第一部上場会社 37 有価証券報告書総覧 第二部上場会社 <p>(外国誌)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 A.A.P.G. bulletin 2 Acoustical science and technology | <ol style="list-style-type: none"> 3 Acta mathematica Hungarica 4 Die Aktiengesellschaft 5 Allgemeines statistisches Archiv 6 American journal of clinical nutrition 7 Annales scientifiques de l'École normale supérieure. Sér. 4 8 Annals of the Association of American Geographers 9 Applied mathematics letters 10 Archiv für Rechts- und Sozialphilosophie 11 ARTnews 12 British journal of management 13 Bulletin de la Société mathématique de France 14 Bulletin de l'Association des professeurs de mathématiques de l'enseignement public 15 Bulletin des Schweizerischen Elektrotechnischen Vereins 16 Bulletin des sciences mathématiques. Sér. 2 17 Capital 18 Cognitive science 19 Dædalus 20 Diogenes 21 EC tax review 22 English literary renaissance 23 Environmental toxicology and chemistry 24 Ergodic theory and dynamical systems 25 Europe 26 L'Expansion 27 Fundamenta mathematicae 28 Furnaces international 29 Fuzzy sets and systems 30 Gender & society 31 Geschichte und Gesellschaft 32 Green chemistry : GC 33 Guerres mondiales et conflits contemporains 34 L'Histoire 35 Historische Zeitschrift 36 InTech 37 International journal of advertising 38 International materials reviews 39 International quarterly journal of marketing 40 Japan forum 41 Japanese journal of mathematics 42 Japanese studies : bulletin of the Japanese Studies Association of Australia 43 Journal of aging and health |
|--|--|

- | | |
|---|--|
| 44 Journal of algebra | 67 Nouvel économiste |
| 45 The Journal of applied ecology | 68 Le Nouvel observateur |
| 46 Journal of computer and system sciences | 69 L'Œil |
| 47 The Journal of cost analysis & management | 70 Organization |
| 48 Journal of cultural geography | 71 Pacific journal of mathematics |
| 49 Journal of gender studies | 72 PC world |
| 50 The Journal of marital and family therapy | 73 Powder metallurgy |
| 51 Journal of nutrition education and behavior | 74 Problèmes économiques |
| 52 Journal of personality | 75 Progress of theoretical physics |
| 53 Journal of school psychology | 76 Project management journal |
| 54 Journal of symbolic computation | 77 Public money & management |
| 55 The Journal of the Acoustical Society of America | 78 The Quarterly journal of mathematics. Oxford ser. 2 |
| 56 Journal of the American Water Works Association | 79 Renaissance quarterly |
| 57 Journal of the Association for Computing Machinery | 80 Research journal electrical engineering |
| 58 The Journal of the Communications Network | 81 Solid state ionics |
| 59 Landscape ecology | 82 Theoretical computer science |
| 60 Machinery and production engineering | 83 Unasylva |
| 61 Manager Magazin | 84 Vingtième siècle |
| 62 Metal bulletin monthly | 85 Wired |
| 63 Migration : eine europäische Zeitschrift für Fragen internationaler Migration und ethnischer Beziehungen | 86 Zeitschrift für die gesamte Versicherungswissenschaft |
| 64 Moscow University mathematics bulletin | 87 Zoologica scripta |
| 65 MITZ | 88 台湾文芸 |
| 66 Nonstop English wave | 89 中国婦女 |

図書館に関する会議

(平成16年1月1日～平成16年10月31日)

運 営 委 員 会

平成15年度第5回 (平成16年1月23日)

<審議事項>

- 1) 平成16年度特別経費の要求について
- 2) 平成16年度図書館事業計画について
- 3) 平成16年度情報リテラシー教育支援の実施計画について
- 4) 一般利用者への図書館資料の一般帯出について
- 5) 平成16年度附属図書館開館日程について
- 6) 社会科学系研究図書館の土曜日の特別利用について
- 7) 大学評価・学位授与機構の全学テーマ別評価「教育サービス面における社会貢献」の評価結果等を受けての改善について

平成15年度第6回 (平成16年3月19日)

<審議事項>

- 1) 平成17年度概算要求について
- 2) 平成16年度図書館資料収書計画について
- 3) 電子ジャーナル・サービスについて
- 4) 引継事項について

平成16年度第1回 (平成16年5月21日)

<審議事項>

- 1) 平成16年度附属図書館運営委員会議長代理者について
- 2) 平成16年度予算部局予算案について
- 3) 平成16年度教育研究高度化経費及び学長裁量経費の要求について
- 4) 平成16年度附属図書館図書館資料選定小委員会の設置について
- 5) 横浜国立大学附属図書館情報基盤整備小委員会(仮称)の設置について

平成16年度第2回 (平成16年7月16日)

<審議事項>

- 1) 平成15年度附属図書館決算について
- 2) 平成16年度附属図書館予算案について

3) 横浜国立大学附属図書館利用規則の一部改正について

4) 法律関連資料特別帯出について

平成16年度第3回 (平成16年9月17日)

<審議事項>

- 1) 自然科学系外国雑誌の購入について
- 2) 中央図書館特別室の使用について
- 3) 電子ジャーナルについて

平成16年度臨時 (平成16年10月15日)

<審議事項>

- 1) 平成16年度研究図書収書について
- 2) 平成17年度自然科学系外国雑誌の購入について
- 3) 平成17年度電子ジャーナルの選定について

図書館資料選定小委員会

平成16年度第1回 (平成16年6月11日)

<審議事項>

- 1) 平成16年度学生用図書及び教養教育図書の選定について
- 2) 平成17年度自然科学系外国雑誌の購入について

平成16年度第2回 (平成16年10月8日)

<審議事項>

- 1) 平成16年度研究図書収書計画の策定について
- 2) 平成17年度自然科学系外国雑誌の購入について
- 3) 平成17年度電子ジャーナルの選定について

情報基盤整備小委員会

平成16年度第1回 (平成16年7月14日)

<審議事項>

- 1) 平成17年度の電子ジャーナルについて

主 要 日 誌

(平成16年1月1日～平成16年10月31日)

1.9 法人化取得問題に関する附属図書館懇談会(東京大学)

- 1.22 国立大学附属図書館事務部長会議（富山大学）
 1.27 横浜市内大学図書館コンソーシアム委員会（神奈川大学）
 2.27 神奈川県図書館協会研修委員会（神奈川県立図書館）
 3.17 神奈川県内大学図書館相互協力協議会（東海大学）
 3.19 神奈川県図書館協会理事会（神奈川県立図書館）
 3.23 神奈川県図書館協会大学図書館委員会（横浜市立大学）
 4.22 関東地区国立大学図書館協議会総会（放送大学）
 4.28 神奈川県図書館協会理事会及び総会（神奈川県立図書館）
 5.25 神奈川県内大学図書館相互協力協議会（横浜国立大学）
 横浜市内大学図書館コンソーシアム委員会（神奈川大学）
 5.28 神奈川県図書館協会研修委員会（川崎市立中原図書館）
 6.30 図書館業務システム開札
 7.1 国立大学図書館協議会総会（大阪大学）
 7.8 神奈川県図書館協会研修会（鎌倉女子大学）
 7.31-8.1 オープンキャンパス
 9.2 神奈川県内大学図書館相互協力協議会（横浜国立大学）

職員の動向

（平成16年1月1日～平成16年10月31日）

- 館長着任**（4月1日付）
 （国際社会科学研究科教授/（兼）経営学部） 山下 正毅
館長離任（4月1日付）
 （国際社会科学研究科教授） 笹井 均
転入
 （4月1日付）
 事務部長
 （愛媛大学附属図書館事務部長） 今川 敏男
 情報サービス課長
 （東京大学教養学部等図書課長） 竜堅 紀直
 （7月1日付）
 情報サービス課参考調査係
 （新採用） 前田 明子
 （8月1日付）
 情報サービス課資料サービス係
 （新採用） 久保いくこ

- 情報サービス課資料サービス係
 （新採用） 片岡 祥
館内異動
 （4月1日付）
 情報管理課課長補佐
 （情報管理課専門員） 勝俣 好次
 （8月1日付）
 情報管理課図書管理係長
 （情報サービス課相互協力係長） 片山 叔子
 情報管理課雑誌管理係長
 （情報サービス課参考調査係長） 鈴木 隆雄
 情報管理課システム管理係長
 （情報サービス課資料サービス係主任） 吉田 幸苗
 情報サービス課資料サービス係主任
 （情報管理課図書管理係） 吉野 道世
 情報サービス課参考調査係長
 （情報管理課システム管理係長） 小池 正利
 情報サービス課相互協力係長
 （情報管理課雑誌管理係長） 黒川 俊浩
 情報管理課図書管理係
 （情報サービス課資料サービス係） 後藤 俊彦

転出

- （4月1日付）
 静岡大学総務部長
 （事務部長） 立原 敏
 国立民族学博物館情報管理施設情報企画課長
 （情報サービス課長） 貴村 好隆

退職

- （5月17日付）
 （情報サービス課参考調査係） 堀金佐知子
 （7月13日付）
 （情報サービス課資料サービス係） 戸叶 郁子

訃報

情報管理課図書管理係長大金聰男氏は、去る平成16年1月21日にご逝去されました。享年58歳。

図書館からのお知らせ

学外の方、及び本学卒業生の方等への図書の貸出サービスをはじめました

横浜国立大学附属図書館では、大学の教育・研究に支障のない範囲において、所蔵する図書館資料の広く一般への閲覧公開を行っておりますが、さらに平成16年4月より学外の方、同10月より本学卒業生の方等への図書の貸出サービスをはじめました。

なお、手続きが終了して「横浜国立大学附属図書館図書利用カード」が発行できるまでには1週間ほどかかりますのでご了承下さい。（即日発行はできません）

①学外の方へ

◇利用できる方

原則として、神奈川県内に在住または在学・在勤していて、学術調査・研究を目的とされる方。年齢は問いませんが、18歳未満の方は保護者の方の署名が必要となります。

◇サービス内容

貸出冊数 … 2冊以内
 貸出期間 … 2週間以内

◇登録受付・発行場所

中央図書館2階メイン・カウンター

◇必要書類

1. ご身分を証明できるもの(身分証明書・運転免許証・健康保険証など)の写し
2. 神奈川県内に在住・通勤・通学していることを証明できるものの写し(1.と同一でも構いません)

◇有効期限

発行年度の末日(3月31日)まで
 ※次年度以降も登録利用を希望される場合は、更新手続きが必要になります。

②本学卒業生の方等へ

◇利用できる方

横浜国立大学の卒業生、大学院修了者、及び元常勤教職員

◇サービス内容

貸出冊数 … 5冊以内
 貸出期間 … 2週間以内

◇登録受付・発行場所

中央図書館2階メイン・カウンター

◇必要書類

1. 卒業等を証明する書類(卒業証明書等)もしくは卒業等を確認できるもの(同窓会名簿の写し等)
2. ご身分を証明できるもの(身分証明書・運転免許証・健康保険証など)の写し

◇有効期限

発行年度の末日(3月31日)まで
 ※次年度以降も登録利用を希望される場合は、更新手続きが必要になります。

休日開館をはじめました

横浜国立大学附属図書館では、平成16年7月4日より次のとおり休日開館を実施していますので、どうぞご利用ください。

◇開館する図書館

中央図書館及び理工学系研究図書館

◇対象となる休日

授業期間中の日曜日及び国民の祝日

◇開館時間 … 10:00~16:30

◇サービス内容

資料の閲覧・貸出・返却、中央図書館ワーキングスタジオの利用等

◇注意事項

中央図書館の出入り口は2Fメインエントランスのみとなります。また、中央図書館B/F・1F書庫は利用できません。

「オープンキャンパス2004」で施設公開と資料展示を実施しました

7月31日(土)と8月1日(日)の2日間、高校生等を対象として「オープンキャンパス2004」が行われ、附属図書館も参加しました。当日は、各学部の学科(課程)紹介や模擬講義等のプログラムが学内で実施されましたが、附属図書館も施設を公開し、また中央図書館2階の特設コーナーで本学刊行物や教員著作の展示を行いました。参加者は、2日間で計3,483名でした。

オープンキャンパス2004

附属図書館 7/31~8/1

横浜国立大学附属図書館 <http://www.lib.ynu.ac.jp/>

施設公開 9:00~16:30
 中央図書館の中を自由にご覧いただけます。
ライブラリーツアー
 各日14:00、14:30の2回、職員が中央図書館の中をツアー形式でご案内します。



中央図書館について
 平成15年4月にリニューアル・オープンしたばかりの新しい建物です。次のような特色ある施設を備えています。
ワーキングスタジオ
 皆で集まってグループ学習ができるガラス張りの小部屋です。
カフェ (shoca.)
 国内の大学図書館では珍しい、図書館の中(1F)にあるカフェです。オープンキャンパス中は10:00~16:00の間営業します。
 *中央図書館は、平成15年度国立学校優秀施設として文教施設部長賞「リニューアル部門」を受賞しています。

PCプラザのパソコンでインターネット!
 中央図書館2FのPCプラザのパソコンで、オープンキャンパス期間中特別に、参加者の皆さんもインターネットを利用することができます。

資料展示 9:00~16:30

- **本学教員著作物**
 国大の先生方が書いた本を直接手にとってご覧ください。
- **部局出版物等**
 各学部等の紀要、シラバス(授業概要)、パンフレット等を一堂に集めて展示しています。入学・卒業アルバムもありますよ。
- **シャープ・コレクション**
 戦後日本の税制の基礎となった「シャープ勸告書」の他、吉田茂首相との往復書簡等、コレクションの一部を展示しています。



問合せ先: 附属図書館 参考調査係 (045-339-3221)